

American Spirits in Movies

名作映画で学ぶアメリカの心

は し が き

優れた文学作家は時代の社会・文化を鋭い観察眼・洞察力でとらえ、社会が内包する問題や人々の生きる姿を見事に描き出します。そこに描き出される人間の強さや弱さ、賢さや愚かさ、温かさや冷酷さ、激しさと穏やかさ、そして、愛と憎しみ、希望と挫折、といった様々な面に人は自分を重ね合わせ、共感したり、時に反発したりしながら、作品の中に引き込まれていきます。優れた映画も同様です。映画は、人々の生活に楽しみを与えてくれるエンタテインメントの1つですが、映画には時代ごとの社会的・文化的価値観が反映され、主人公の生き様が生き生きと映し出されます。また、映画は日常生活に密着したバリエーション豊富な表現がたくさん詰まっており、外国語を学ぶ媒体としても優れた価値があります。

本書で取り上げた作品の原作者、ルイザ・メイ・オルコット（1832～1888）（『若草物語』）、ライマン・フランク・ボーム（1856～1919）（『オズの魔法使い』）、マーガレット・ミッチェル（1900～1949）（『風と共に去りぬ』）、ネル・ハーパー・リー（1926～）（『アラバマ物語』）は、いずれも優れた作家であり、文学を学ぶ者だけでなく、多くの人々によって今日まで読まれている作品を生み出した作家たちです。オルコットの『若草物語』やボームの『オズの魔法使い』は、日本でも幼年・青年時代に読んだことがあるという人も多いでしょう。常に読む者に夢と希望を与えてくれる作品です。ミッチェルは、その短い生涯の中で、大作といえる作品は『風と共に去りぬ』一作品しか書いていませんが、映画化によって一躍有名になりました。『風と共に去りぬ』は、今日に至るまでアメリカ人の好きな映画の上位に必ず入る作品です。ハーパー・リーは、本書で取り上げている『アラバマ物語』によってアメリカで最も権威あるピューリッツァー賞を受賞しました。

1620年のプリマス入植以来、アメリカには様々な社会的・文化的背景をもつ人々が移住し、何も無い状態から社会・経済をつくりあげていきました。その間、イギリスとの独立戦争やメキシコとの土地争いなど戦争を経て、アメリカはその都度、社会的基盤を拡大、堅固なものにしていきました。アメリカの経済的発展を支えていたものの1つに、奴隷制があったことは周知のとおりです。その奴隷制の廃止・存続をめぐる、工業化が進んだ北部と奴隷制に頼らざるをえなかった南部との間で戦争が勃発したのは1861年のことです。この南北戦争は、アメリカで国民同士が戦い、殺しあった唯一の内戦となりました。南北戦争がもたらした変化はアメリカ社会にとって計り知れないほど大きいものです。『若草物語』では、四姉妹の父は北軍の従軍医として戦地に赴き、その父の帰還を待つ4姉妹の家族愛と恋愛が描かれています。一方、『風と共に去りぬ』は、南部の白人社会から見た当時の状況が描かれており、戦争によって何

もかも失った主人公スカーレットの土地に対する執着、愛に翻弄される姿、そして自立が描かれています。

『アラバマ物語』は、黒人（現在では「アフリカン・アメリカン」と呼ばれている）に対する人種差別意識が強かった社会において、人々が抱く偏見と戦いながら黒人の若者の弁護を引き受ける弁護士アティカス・フィンチの誠実な姿勢が描かれています。日本でも裁判員制度が導入された今、この映画は私たち一人ひとりに強いメッセージを語りかけてくるでしょう。

今回選定した映画では、戦争や不況といった逆境の中で生きていく真摯な人々の姿が描かれています。『オズの魔法使い』だけは、戦争や人種差別といった背景とは関わりがありませんが、この作品は当時のアメリカ社会の政治・経済の問題点を象徴しているというとらえ方もあると言われています。また、映画の中で、旅を通して成長していくドロシーの姿、大人になるために必要な知恵と勇気と友愛、というテーマはアメリカ社会でも馴染みのある、人々に好まれるテーマです。そして、『オズの魔法使い』の中で何度も言われる“*There’s no place like home.*”という名台詞は、自分の故郷、家に対するこだわり、愛情を表すという点で、アメリカ社会を理解する際の重要な要素を表しているとも言えましょう。

本書は、こうした優れた文学作品を映画化した作品を取り上げ、中級レベル以上の学習者を対象とした英語による内容理解に焦点をあてたテキストです。本書が、映画を通して多くの英語表現を学び、アメリカの文化・社会についての理解を深める機会を提供するものとなれば幸いです。

2009年
著者一同

本書の構成

本書は、4本の映画を題材にしていますが、1本の作品につき、4つのUnitから問題が構成されていますので、合計16のUnitが収録されています。各Unitには、次のものが含まれています。

あらすじ

全てのUnitは、映画のあらすじから始まります。各映画の最初のUnit（『風と共に去りぬ』= Unit 1、『若草物語』= Unit 5、『オズの魔法使い』= Unit 9、『アラバマ物語』= Unit 13）では、物語のあらすじと同時に主な登場人物が写真で紹介されていますので、これらを読むことで、学習を始める前に映画の概要をつかむことができます。また、2回目以降のUnitでは、前回までのあらすじが書かれていますので、それまでの映画の内容を簡潔に振り返ることができます。

Vocabulary Exercise

Unitで取り扱われている3つのSceneの中から、重要な語彙を10個取り上げています。英語で書かれた説明文の中から適切なものを選び、語彙の意味を確認してください。あまり耳慣れない語句も多少含まれていますが、Sceneを理解する上で大切だと思われるものを基準に選んでいますので、映像を観る前に必ず取り組みましょう。語彙は、実際にSceneに出てくる順番に並んでいます。また、巻末には、日本語訳付きの語彙リストを載せてありますので、Vocabulary Exerciseに取り組む際の参考にしたたり、意味の再確認や復習などに使用したり、目的に応じてぜひ利用してみてください。

Scene 1

約4分～8分のSceneを観て、内容に合う答えを4つの選択肢の中から選びます。問題を通して、物語が理解できているかどうかを確認しましょう。

Scene 2

Scene1と同様に、ある1つのSceneを観て、その内容について答えます。記述式で、Scene1と比べると、少し踏み込んだ内容が取り扱われています。登場人物の心情や物語の背景を考慮しなくてはならない問題も含まれていますので、難しいものもあるかもしれませんが、英語を通してストーリーについてより深く学ぶことができます。

Scene 3

約1～2分のSceneでの会話やナレーションを聞いて、穴埋めをするリスニング問題です。重要な語句やよく使われる慣用表現・口語表現などを聞き取るようになっています。DVDを利用して、何度も自分で聞き取り練習をすることが可能です。また、これは使える、使ってみたい！

というセリフがあれば、声に出して何度も言ってみましょう。DVDには英語字幕がついてますので、DVDを観ながら、Sceneに合わせて感情を込めてセリフを言うと、上達すること間違いありません。

Culture Notes

映画の中で取り扱われている様々な題材に関する、ちょっとした豆知識が紹介されています。コラムを読むことで、映画にまつわるエピソードや映画の文化的・社会的背景の一端についても知ることができます。興味深い記事がたくさんありますので、学習途中の息抜きとしてぜひ読んでください。また、映画を通して自分が関心を抱いたトピックや何か気になることがあれば、調べてみましょう。きっと、新しい発見があるはずです。

Plus one!

ここでは、物語や登場人物、映画のトピックに関連した質問を用意していますが、決まった答えがあるわけではありません。自分で考え、クラスメートと意見を交換しながら、映画についてより深く考えることができます。

Review and Additional Exercises

各 Unit の最後に用意されている復習とまとめの問題です。Unit の復習や内容理解をさらに深めるための練習問題として利用してください。内容に関する T/F (True or False) 問題、出来事を起こった順番に並び替える問題、登場人物の特徴を問う問題などがありますので、Unit の内容全体を振り返ることができます。各映画の最後の Unit (『風と共に去りぬ』 = Unit 4、『若草物語』 = Unit 8、『オズの魔法使い』 = Unit 12、『アラバマ物語』 = Unit 16) では、Review and Additional Exercises の代わりに、映画のストーリー全体をまとめた Summary 問題が用意されています。穴埋めをして、Summary を英語で完成させてください。また、自分のことばで Summary を書いたり、口頭でストーリーをまとめたりしてみてもいいでしょう。英語で物語をまとめることで、内容が整理されるだけでなく、英作文の力もつくでしょう。

Let's try this challenge! — 原作を読もう

それぞれの映画の最後のページには、原作の一部を載せています。原作を読んで物語を楽しむと同時に、映画と比較してみると面白いでしょう。何か気が付くことがあるかもしれません。ぜひチャレンジしてみましょう。

Contents

Gone with the Wind 『風と共に去りぬ』

Unit 1	主な登場人物、Vocabulary Exercise	2
	<Scene 1> スカーレットの秘密	3
	<Scene 2> 大園遊会で	4
	<Scene 3> レットとの出会い	5
	Review and Additional Exercises	6
Unit 2	これまでのお話、Vocabulary Exercise	7
	<Scene 1> アトランタからの脱出	8
	<Scene 2> 廃墟と化した故郷	9
	<Scene 3> スカーレットの戦い	10
	Review and Additional Exercises	11
Unit 3	これまでのお話、Vocabulary Exercise	12
	<Scene 1> レットとの面会	13
	<Scene 2> スカーレットの作戦	14
	<Scene 3> レットの求婚	15
	Review and Additional Exercises	16
Unit 4	これまでのお話、Vocabulary Exercise	17
	<Scene 1> メラニーの最期	18
	<Scene 2> レットとスカーレットの別れ	19
	<Scene 3> 去っていくレット	20
	Unit 1 ~ 4 Summary	21
	Let's try this challenge! -原作を読もう	22

Little Women 『若草物語』

Unit 5	主な登場人物、Vocabulary Exercise	24
	<Scene 1> プレゼントのないクリスマスなんて	25
	<Scene 2> 姉妹のクリスマスプレゼント	26
	<Scene 3> クリスマスの朝に	27
	Review and Additional Exercises	28
Unit 6	これまでのお話、Vocabulary Exercise	29
	<Scene 1> ローレンス家への訪問	30
	<Scene 2> ローレンス家のパーティ	31
	<Scene 3> ジョーの想い	32
	Review and Additional Exercises	33
Unit 7	これまでのお話、Vocabulary Exercise	34
	<Scene 1> 電報	35
	<Scene 2> ベスの病	36
	<Scene 3> ジョーとローリー	37
	Review and Additional Exercises	38
Unit 8	これまでのお話、Vocabulary Exercise	39
	<Scene 1> ジョー、ニューヨークへ	40
	<Scene 2> 故郷へ	41
	<Scene 3> 新しい旅立ち	42
	Unit 5 ~ 8 Summary	43
	Let's try this challenge! -原作を読もう	44

The Wizard of Oz 『オズの魔法使い』

Unit 9	主な登場人物、Vocabulary Exercise	46
	<Scene 1> ドロシーの想い	47
	<Scene 2> トトを守るために	48
	<Scene 3> オズの国へ	49
	Review and Additional Exercises	50
Unit 10	これまでのお話、Vocabulary Exercise	51
	<Scene 1> 西の魔女の脅し	52
	<Scene 2> 脳みそのないカカシ	53
	<Scene 3> 臆病なライオン	54
	Review and Additional Exercises	55
Unit 11	これまでのお話、Vocabulary Exercise	56
	<Scene 1> エメラルドの都へ	57
	<Scene 2> オズの魔法使い	58
	<Scene 3> 魔女の企み	59
	Review and Additional Exercises	60
Unit 12	これまでのお話、Vocabulary Exercise	61
	<Scene 1> 西の魔女退治	62
	<Scene 2> オズの正体	63
	<Scene 3> 故郷カンザスへ	64
	Unit 9 ~ 12 Summary	65
	Let's try this challenge! - 原作を読もう	66

To Kill a Mockingbird 『アラバマ物語』

Unit 13	主な登場人物、Vocabulary Exercise	68
	<Scene 1> アティカスの家庭	69
	<Scene 2> 父と子の会話	70
	<Scene 3> 裁判所ののぞき見	71
	Review and Additional Exercises	72
Unit 14	これまでのお話、Vocabulary Exercise	73
	<Scene 1> 学校	74
	<Scene 2> 約束	75
	<Scene 3> アティカスを守る	76
	Review and Additional Exercises	77
Unit 15	これまでのお話、Vocabulary Exercise	78
	<Scene 1> ユーウェル親子の証言	79
	<Scene 2> トムの証言とアティカスの最終弁論	80
	<Scene 3> アティカス、最後の訴え	81
	Review and Additional Exercises	82
Unit 16	これまでのお話、Vocabulary Exercise	83
	<Scene 1> 裁判の結末	84
	<Scene 2> 命の恩人	85
	<Scene 3> 懐かしい日々	86
	Unit 13 ~ 16 Summary	87
	Let's try this challenge! - 原作を読もう	88

Gone with the Wind

『風と共に去りぬ』



監督：ヴィクター・フレミング

脚本：シドニー・ハーワード

主演：ヴィヴィアン・リー／クラーク・ゲーブル

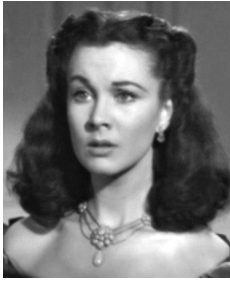
制作：1939年

『風と共に去りぬ』(Gone with the Wind)は、1936年に刊行されたマーガレット・ミッチェルによる同名小説を原作として制作され、第12回アカデミー賞では作品賞、監督賞、主演女優賞、助演女優賞を含む13部門にノミネート、10部門で受賞と高く評価された作品である。アメリカの歴史上最大の死者を出した戦争、南北戦争(1861~65年)の戦前・戦後のジョージア州アトランタとタラを背景とし、崩壊していく南部社会を主人公スカーレット・オハラが力強く生きていく姿が描かれている。

Unit 1

Gone with the Wind 『風と共に去りぬ』 Part 1

●主な登場人物●



Scarlett O'Hara



Rhett Butler



Ashley Wilkes



Melanie Hamilton

●あらすじ●

タラの大農園主であるアイルランド系の父ジェラルドと育ちのよい母エレンの間に三人姉妹の長女として生まれたスカーレットは、美しく、陽気で、勝気であり、社交界の華であった。そんなスカーレットが惹かれたのは、物静かで知的なアシュレーであったが、彼は従妹のメラニーとの結婚を選ぶ。アシュレーの家で開かれた大園遊会に出席したスカーレットはアシュレーに自分の思いを告げるが、それをレット・バトラーという評判の悪い男に聞かれてしまう。悪びれないレットの態度にスカーレットはレットを卑劣な男と非難するが、レットはスカーレットに強く惹きつけられる。

Vocabulary Exercise

Choose the correct definition for each word or phrase from the box below.

- | | | | |
|---|-----|--|-----|
| 1. be expelled from (school, the country) | () | 6. reputation | () |
| 2. tell ~on...(tell her on me) | () | 7. tactful | () |
| 3. in strict confidence | () | 8. compliment | () |
| 4. make a spectacle of oneself | () | 9. How dare you | () |
| 5. run after someone | () | 10. for the rest of (week, my life, the day) | () |

- a. diplomatic, considerate, avoid doing or saying anything to upset others
- b. an opinion about someone based on what has happened in the past
- c. How do you have the nerve to
- d. remaining time
- e. praise or admiration
- f. to be kicked out of ~
- g. in secrecy
- h. to attract other people's attention by doing something foolish
- i. to try to start a romantic relationship with someone
- j. to tell someone about something bad that this person has done



Scene 1 (約5分30秒)

スカーレットの秘密



スカーレットは春からずっと人々の間で話されている戦争の話に飽き飽きしていた。そこに思わぬニュースが耳に入り驚くのだった. . .



Multiple Choice

Watch the scene and choose the correct answer.

- Which of these people was excited about the war against the North?
 - Scarlett
 - All of them
 - Two boys
 - Nobody
- Who was Scarlett secretly in love with?
 - Brent
 - Ashley
 - Her cousin
 - Rhett
- What did Scarlet say about Melanie?
 - She is goody-goody.
 - She is very sincere.
 - She is like Ashley.
 - She is honest.
- What did Scarlett's father think about Ashley?
 - He would make Scarlett happy.
 - He was in love with Scarlett.
 - He wouldn't make Scarlett happy.
 - He was a Northerner.
- What is the name of the land owned by Scarlett's family?
 - Charleston
 - Tara
 - Ireland
 - Twelve Oaks

Culture Notes



スカーレットの父親はアイルランド系という設定です。O'HaraのようにO'~で始まるのは典型的なアイリッシュの名前。アイルランド人は土地を持たない小作人として長い間イングランドの領主に搾取され、約束の地アメリカでもカトリック教徒であることなどを理由に差別を受けてきました。スカーレットのお父さんのタラの土地への思い入れには、そんな歴史上の経緯が背景にあるといえるでしょう。

🎬 Scene 2 (約8分40秒)

大園遊会で



スカーレットはウィルクス家での大園遊会に出席し、多くの男性たちに囲まれ、ちやほやされる。しかし、アシュレーとメラニーの仲睦まじい様子を見ておもしろくない。やがて、男性たちは広間に集まって戦争談義を始めるのだった...

Comprehension Questions

Watch the scene and write answers to the following questions.

1. How did Scarlett feel when she noticed that Rhett was staring at her?
2. Why was Ashley hesitant about going into war with the North?
3. Was Rhett for or against the war? Why?
4. Which side started the war first, the North (the Union) or the South (the Confederacy)?
5. Which side was pro-slavery, the North or the South?

Culture Notes

南北戦争(1861-1865)での戦いの焦点の1つは奴隷制度を支持するか否かでした。プランテーション経営が経済の中核をなしていた南部は、黒人奴隷の労働力に支えられていました。オハラ家でも黒人奴隷達が忙しく働いています。

大園遊会に出かける前のスカーレットの支度を手伝っているのも黒人奴隷でオハラ家の忠実な乳母マミー(Mammy)。マミーはスカーレットの肌がそばかすにならないように気を遣ったり、南部の白人女性(Southern Belle)はどう振る舞うべきか口やかましく言ったりしながらスカーレットの世話をやきます。素のままのスカーレットを最もよく理解していたのは実の母親よりもマミーでした。ちなみにマミーがきつく締めあげているスカーレット自慢のウエストサイズはなんと17インチ(43cm)という設定(!) なお、マミー役のHattie McDanielは黒人女性として初めてアカデミー助演女優賞を受賞しています。





Scene 3 (約45秒)

レットとの出会い



02



スカーレットはアシュレーが独りになったのを見計らって声をかけ、書斎で話をするが言い合いとなって終わる。ところが誰もいないと思っていた書斎には、評判の悪いレットがソファで寝ていて、話を全部聞かれてしまったのだった. . .

Fill in the Blanks

Watch the scene and fill in the blanks.

SCARLETT : Sir, you...you should have made your presence known.

RHETT : In the middle of that beautiful love scene? That wouldn't have been very tactful, would it? But don't worry. Your secret is ₁() () ().

SCARLETT : Sir, you are no gentleman.

RHETT : And you, Miss, are ₂() (). Don't think that I hold that against you. Ladies have never held any charm for me.

SCARLETT : First you take a low, common advantage of me, then you insult me!

RHETT : I meant it ₃() () (). And I hope to ₄() () () you when you're free of the spell of the elegant Mr. Wilkes. He doesn't strike me as half good enough for a girl of your...what was it... ₅() () () ()?

SCARLETT : How ₆() you! You aren't fit to wipe his boots!

RHETT : And you were going to hate him ₇() () () () () ().

Plus one!

レットはアシュレーのことをどのように評価していると思いますか？あなたの考えをクラスメートと話し合ってみましょう。

A True or false?

- | | | |
|--|-------------------------|-------------------------|
| 1. Ashley said that he cared about Scarlett. | <input type="radio"/> T | <input type="radio"/> F |
| 2. Ashley said that he and Melanie were very different. | <input type="radio"/> T | <input type="radio"/> F |
| 3. Ashley said that Scarlett had passion for life but he didn't. | <input type="radio"/> T | <input type="radio"/> F |
| 4. Scarlett said that she understood Ashley better than anybody did. | <input type="radio"/> T | <input type="radio"/> F |
| 5. Scarlett thought Ashley wanted to marry her. | <input type="radio"/> T | <input type="radio"/> F |

B Complete the chart below with the choices from Description.

Characters	Descriptions	
Rhett Butler		
Ashley Wilkes		
Melanie Hamilton		
Mr. O'Hara		

Description:

- a. was expelled from West Point, and estranged from his family
- b. is Ashley's cousin
- c. is from Ireland
- d. is going to marry Melanie
- e. is very attached to the land of Tara
- f. is very gentle and kind to others
- g. is a very honorable and courteous Southern gentleman
- h. is cynical and outspoken

C Who said these? Choose the character who said the statements below.

Mr. O'Hara	Ashley	Rhett	Charles
------------	--------	-------	---------

- 1 I'm saying very plainly that the Yankees are better equipped than we. They've got factories, shipyards, coalmines... and a fleet to bottle up our harbors and starve us to death. All we've got is cotton and slaves and ...arrogance. ()
- 2 Most of the miseries of the world were caused by wars. And when the wars were over, no one ever knew what they were about. ()
- 3 Apologies aren't enough sir. I hear you were turned out of West Point, Mr. Rhett Butler, and that you aren't received in any decent family in Charleston, not even your own. ()